

市民交流施設の利活用(案)のパブリックコメント(意見募集)結果

平成31年1月

江別市生活環境部市民生活課市民協働担当

■意見の募集結果

募集期間	平成30年12月5日～平成31年1月4日
提出者数	4人
提出件数	12件

■意見に対する考え方の区分

区分	意見の反映状況
A	意見を受けて案に反映するもの
B	案と意見の趣旨が同様と考えられるもの
C	案に反映していないが、今後の参考とするもの
D	案に反映しないもの
E	その他の意見

No.	寄せられたご意見	ご意見に対する(市の)考え方	意見の反映状況
1	<p>私が住む町内会は、まさに野幌駅南口に隣接する町内会です。市の開発計画により、道路が整備され、交通量も多くなりました。</p> <p>私が住む地域では、市の文化行事などに参加するには、市民会館まで出向かなければなりませんでした。</p> <p>今後、この地域に市民の交流施設が建設される予定とのことで、JRの線路をはさんで南側に拠点をおくカルチャーセンターとしての機能が期待されるところです。</p>	<p>市民交流施設の利活用(案)は、入居予定の市民活動センター、国際センターの現在の活動を継続しながら、さらなる利活用について、市民交流施設利活用検討会で検討したものです。</p> <p>現在の市民活動センターにおいて、フラダンスや着付けなど様々な講座が開催されており、市の各種講座などでの利活用も考えております。</p>	B
2	<p>次のとおり提案・意見させていただきます。</p> <p><転入者増による街の活性化のため> ・市外からの転入促進のための情報提供・相談機能、セミナーの開催。 (公共施設や病院、子育て支援、宅地、税金、除雪、学校区、近隣市町村を含むレジャーなどの情報の提供、関係機関等への取次)</p>	<p>市では、市外からの転入促進のために、市役所本庁舎にて移住相談ワンストップ窓口として転入希望者のご相談を受け付けております。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます、転入促進の向上につなげてまいりたいと考えております。</p>	C
3	<p><市民生活向上のため> ・江別の観光案内のほか、近隣市町村の観光・イベント、施設等の情報を集約。</p>	<p>市民交流施設の利活用(案)では、江別の観光案内を含め江別の魅力を発信する場としての利活用を考えております。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後検討する際の参考とさせていただきます。</p>	B

4	<p><市民生活向上のため> ・高齢者のための防犯・防災、福祉に関する講座の開催。</p>	<p>市民交流施設の利活用(案)では、市民交流施設は子どもから高齢者など多様な利用者を想定しており、市の各種講座などでの利活用も考えております。</p>	B
5	<p><利用機会増のため> ・図書館図書の受け渡し機能。</p>	<p>図書の受け渡し窓口を新たに設置することにつきましては、職員配置や電算システム等の経費、スペース確保等の課題があり、難しい状況ではありますが、情報図書館では、週2回、本館を午後9時まで開館しているほか、返却用ブックポストの設置やインターネット予約などを実施し、利用者の利便性向上に努めているところであります。 いただいたご意見につきましては、更なる利便性向上の取組の参考とさせていただきます。</p>	C
6	<p><利用機会増のため> ・行政サービスの申し込みや各種チケット販売。</p>	<p>市の様々な行政サービスの受付は、専門知識を持った職員の配置やスペース、経費などの課題があります。 なお、現在の市民活動センターでは、市民活動団体が主催するイベントのチケットなどの取り扱いを行っております。</p>	D
7	<p><安全面への配慮> ・十分な駐車場を確保することと、車の動線に配慮が必要。</p>	<p>駐車場につきましては、選定事業者から30台分確保する内容の提案を受けており、車の導線にも配慮してまいります。</p>	C
8	<p><安全面への配慮> ・ローソン前の交差点には、信号機、横断歩道の設置が必要。 (道路の切替による交通量の増加や駐車場を出入りする車が増えることにより、特に子供や高齢者の横断に危険が伴うことが当然に予想される。)</p>	<p>野幌駅周辺の道路整備に伴い、歩行者や通行車両の安全確保の観点から、ご意見にありますローソン前の交差点を含めて、信号機と横断歩道の設置を、所管する公安委員会に要望しているところです。</p>	C
9	<p>すごい立派で好立地の施設が、市民活動センター、国際センター、市の証明交付窓口の移転程度にしか利用されないようではもったいない。市役所の施設の窓口と検討会の狭い発想ではだめです。江別市の内外交流の拠点になるよう次の機能を提案し、より広い交流につながることを期待します。</p> <p>1. 観光客や市外からの来訪者への案内と市民との交流機会拡大のための外との交流機能を持ったものが必要になっていきます。</p>	<p>市民交流施設の利活用(案)では、市民はもとよりホテルに宿泊する観光客など多様な利用者を想定したうえで、江別の観光案内、多世代・多国籍の交流ができる場としての利活用を考えております。 いただいたご意見を参考に、今後、より広い交流につながるよう努めてまいります。</p>	B
10	<p>2. 大学や試験研究機関、芸術文化施設などがあり、外国人の来訪者が増加しているので、外国人への対応、交流の窓口を設け、内外に発信していくものが必要になっていきます。</p>	<p>市内に在住または来訪された外国人への対応や交流につきましては、現在国際センターにおいて語学教室や交流イベントが開催されており、市民交流施設の利活用(案)においても、多国籍の交流ができる場としての利活用を考えております。</p>	B

11	<p>3. 都市と農村の交流を進める都市型農業の推進において、農村部の受入交流の施設や対応が市民にも市外にも知名度が低い、都市型農業の市内外へのアピールと交流の足がかりに拠点機能を持たせ、市内外からの立寄拠点にしたい。</p>	<p>市では、平成29年4月に設置した、江別市都市と農村の交流センター(えみくる)を拠点とし、「食」と「農」を通じた、都市部と農村部の交流の活性化を進めております。</p> <p>市民交流施設は、市内外を問わず多様な利用者を想定しており、市民交流施設の利活用(案)では、野幌駅南口に隣接した立地条件を活かして、農業を含め江別の魅力を発信する場としての利活用を考えております。</p>	C
12	<p>◎利活用の柱として、「指定緊急避難場所(地震)」を追加願いたい。 (理由)</p> <p>1 野幌駅南口周辺は住宅密集地域ですが、近くに「緊急避難所(施設)」がありません。(現在の「指定避難所」までは、かなりの距離があります) * 以前の防災マップでは公共代替地が一時避難所となっていました、現在の防災マップにはありません。</p> <p>2 この地域は比較的早く住宅地となったため、旧耐震基準の木造住宅・アパートが比較的多いと感じられます。</p> <p>3 近年、地震が多発しており住民の不安を解消するためにも、可能な限りバランスの取れた「緊急避難所(施設)」の設置が望ましいと考えます。 以上等の理由から、野幌駅南口に設置される「市民交流施設」の役割として「標記」をお願いしたい。</p>	<p>「指定緊急避難場所」は、災害発生時、または発生するおそれがある時に一時的に避難する場所であり、「指定緊急避難場所(地震)」として、公園・広場等を指定しております。また、「指定避難所」は避難者を収容し短期間の「避難生活をするための場所」であり、公共施設等を指定しております。</p> <p>市民交流施設を指定避難所とすることにつきましては、地域のバランス等を考慮し、検討する際の参考とさせていただきます。</p>	C